

江田島市地域経済動向調査（令和7年2月）

■全国の景況

◇月例経済報告（令和6年12月号より）

『景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。』

- ・個人消費は、一部に足踏みが残るものの、持ち直しの動きがみられる。
- ・設備投資は、持ち直しの動きがみられる。
- ・住宅建設は、おおむね横ばいとなっている。
- ・公共投資は、底堅く推移している。
- ・輸出は、おおむね横ばいとなっている。輸入は、このところ持ち直しの動きがみられる。貿易・サービス収支は、赤字となっている。
- ・生産は、横ばいとなっている。
- ・企業収益は、総じてみれば改善しているが、そのテンポは緩やかになっている。企業の業況判断は、改善している。倒産件数は、増勢が鈍化している。
- ・雇用情勢は、改善の動きがみられる。
- ・国内企業物価は、このところ緩やかに上昇している。消費者物価は、このところ上昇している。

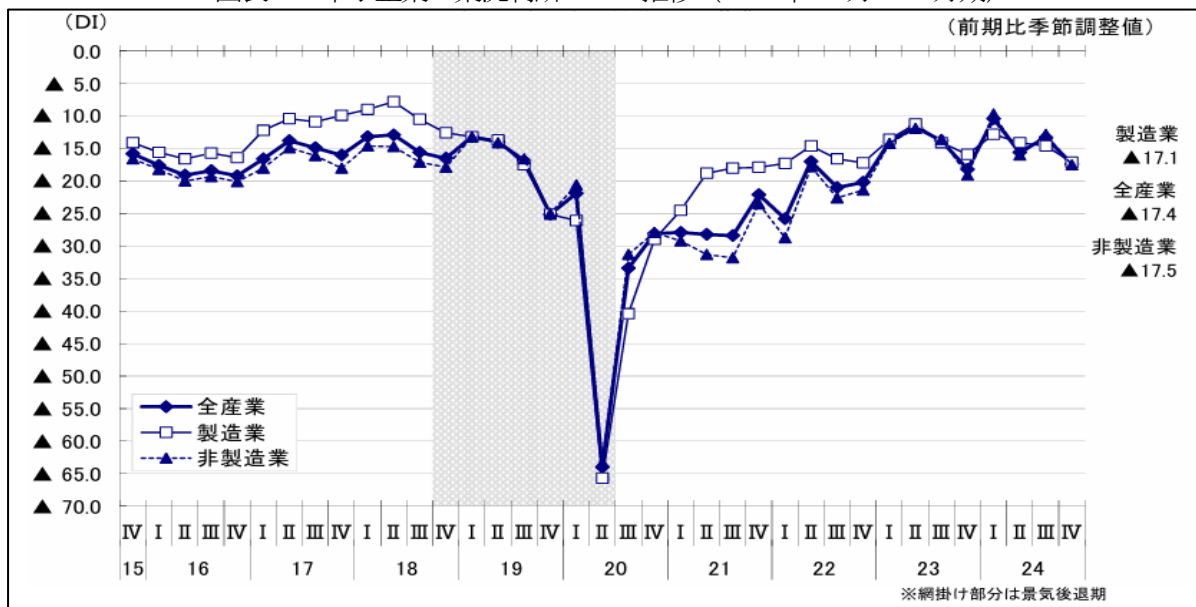
『先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、アメリカの今後の政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。』

◇中小企業景況調査（2024年10～12月より）

『中小企業の業況判断D Iは、2期ぶりに低下した。』

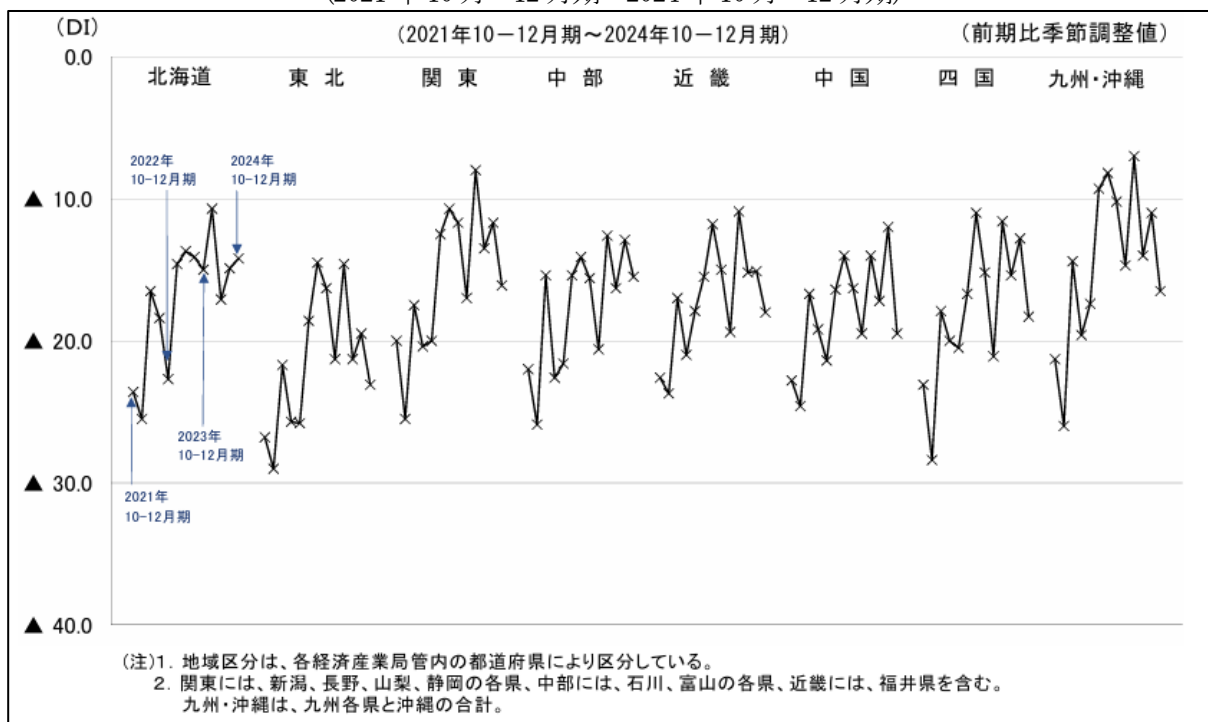
- ・2024年10～12月期の全産業の業況判断D I（「好転」－「悪化」）は、▲17.4（前期▲13.3、前期差4.1ポイント減）となり、2期ぶりにマイナス幅が拡大した。
- ・製造業の業況判断D Iは、▲17.1（前期▲14.6、前期差2.5ポイント減）と3期連続してマイナス幅が拡大した。
- ・非製造業の業況判断D Iは、▲17.5（前期▲12.8、前期差4.7ポイント減）と2期ぶりにマイナス幅が拡大した。

図表1 中小企業の業況判断D Iの推移（2024年10月～12月期）



- ・地域別の業況判断D I（全産業）は、北海道の地域でマイナス幅が縮小し、中国、四国、九州・沖縄、関東、東北、近畿、中部の地域でマイナス幅が拡大した。

図表2 中小企業の地域別業況判断D Iの推移（全産業）
 (2021年10月-12月期～2024年10月-12月期)



■広島県の景況

◇広島県内経済情勢報告（令和7年1月）

『県内経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある』

- ・個人消費：「一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある」

業態別にみると、百貨店販売は、気温高の影響で衣料品などが低調であり、前年を下回っている。ホームセンター販売は、気温高の影響で季節商品が不調であり、前年を下回っている。ドラッグストア販売は、気温高の影響で夏物商品の好調が続き、前年を上回っている。コンビニエンスストア販売は、気温高の影響で飲料などが好調であり、前年を上回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、自動車認証不正取得問題の影響から徐々に回復しつつあり、前年を上回っている。このように、個人消費は、全体では、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある。
- ・生産活動：「横ばいの状況にある」

一般機械は、海外向けの需要が堅調なことなどから増加している。プラスチック製品は、車載向け製品の需要が堅調なことなどから増加している。一方、輸送機械は、モデル切替の影響などから減少している。鉄鋼は、建設需要が低迷していることなどから建材向けの生産量が減少している。電気機械は、半導体市況の回復スピードに足踏みがみられるものの高い生産水準を維持している。このように、生産活動は、全体では、横ばいの状況にある。
- ・雇用情勢：「緩やかに改善しつつある」

有効求人倍率は、横ばいで推移している。民間職業紹介における求人は、アルバイト・パートで弱さがみられるものの、正社員で堅調に推移している。また、企業の人手不足感は、法人企業景気予測調査（6年10-12月期）の従業員数判断 BSI でみると、「不足気味」超幅が拡大している。このように、雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。
- ・設備投資：「6年度は前年度を上回る見込み」
 - 製造業では、「化学」などで減少するものの、「非鉄金属」、「自動車」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
 - 非製造業では、「金融・保険」などで減少するものの、「電気・ガス・水道」、「不動産」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- ・企業収益：「6年度は減益見込み」
 - 製造業では、「化学」などで増益となるものの、「生産用機械」、「その他の輸送用機械」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
 - 非製造業（除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」）では、「建設」、「その他のサービス」などで増益となるものの、「運輸・郵便」、「学術研究、専門・技術サービス」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- ・企業の景況感：『「上昇」超に転じている』

企業の景況判断 BSI は、「上昇」超に転じている。なお、先行きは「上昇」超幅が拡大する見通しとなっている。
- ・住宅建設：「前年を下回る」

新設住宅着工戸数でみると、持家が增加しているものの、分譲住宅、貸家などが減少していることから、前年を下回っている。
- ・輸 出：「前年を下回る」

輸出（円ベース）は、自動車、鉄鋼などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、北米、西欧などで減少している。

なお、輸入（円ベース）は、石炭、電気機器などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では大洋州、アジアなどで減少している。

図表3 広島県の主要経済指標

	鉱工業生産指数 (季節調整値) (2015年=100)		電力需要 実績 伸び率 前年比	百貨店・ スーパー 販売額 伸び率 前年比	乗用車 新車登録・ 届出台数 前年比	消費者 物価指数 伸び率 前年比 (広島市)	新設住宅着工戸数 伸び率、前年比			公共工事 請負金額 伸び率 前年比
	指数	前月(年、期)比					戸数合計	持家	貸家	
2020年	89.4	△ 11.2	△ 2.8	△ 5.1	△ 9.5	0.2	△ 14.8	△ 9.8	△ 11.3	※ 4.7
21	92.9	3.9	△ 1.0	△ 0.6	△ 4.2	△ 0.4	11.0	9.2	14.7	※△ 8.6
22	97.5	5.0	2.7	2.3	△ 6.1	2.7	0.9	△ 14.9	17.4	※ 8.9
23	94.4	△ 3.2	△ 0.6	3.1	16.2	3.3	△ 2.5	△ 8.9	△ 6.1	※ 0.2
23年 7~9月	96.1	0.3	△ 1.2	4.2	11.0	3.0	△ 4.0	3.4	△ 7.2	△ 9.0
10~12	95.1	△ 1.0	△ 1.7	0.1	5.5	2.5	△ 12.6	△ 16.6	△ 21.5	7.1
24年 1~3	93.7	△ 1.5	△ 2.8	3.5	△ 23.0	2.2	△ 30.4	△ 6.9	△ 37.2	7.2
4~6	98.4	5.0	△ 0.7	1.2	△ 9.9	2.5	△ 9.6	1.3	△ 10.2	△ 23.7
7~9	92.5	△ 6.0	0.3	△ 0.9	4.0	2.8	△ 5.6	△ 13.9	△ 2.4	△ 13.0
23年 10	95.4	△ 1.0	0.1	0.2	10.1	3.0	△ 20.9	△ 14.2	△ 20.4	24.7
11	94.5	△ 0.9	△ 1.5	0.8	8.3	2.5	△ 23.8	△ 20.4	△ 50.5	△ 15.6
12	95.4	1.0	△ 3.9	△ 0.4	△ 2.1	2.2	16.2	△ 15.1	46.4	12.2
24年 1	87.7	△ 8.1	△ 4.3	1.1	△ 20.8	2.1	△ 28.1	△ 14.7	△ 31.6	86.6
2	100.9	15.1	△ 1.7	6.4	△ 22.6	2.3	△ 30.9	△ 7.9	△ 20.9	△ 35.1
3	92.4	△ 8.4	△ 2.3	3.3	△ 25.0	2.2	△ 31.7	1.2	△ 52.7	8.7
4	96.9	4.9	2.8	△ 1.5	△ 11.9	2.0	19.0	2.9	5.9	22.5
5	108.2	11.7	△ 1.1	1.4	△ 9.9	2.7	△ 24.7	△ 9.0	△ 20.3	35.3
6	90.0	△ 16.8	△ 3.5	3.6	△ 8.1	2.8	△ 18.1	9.4	△ 16.1	△ 58.5
7	97.9	8.8	△ 0.0	△ 3.4	6.3	2.7	15.2	△ 17.6	31.3	11.1
8	92.9	△ 5.1	△ 0.4	0.4	0.1	3.0	△ 16.7	△ 21.4	△ 26.6	△ 34.2
9	86.7	△ 6.7	1.3	0.6	4.9	2.8	△ 11.5	△ 0.8	△ 1.4	△ 18.9
10	P 91.2	5.2		△ 3.6	11.1	2.1	△ 9.3	16.5	△ 26.3	0.2
11				0.9	△ 2.1	3.1	2.2	26.6	22.2	△ 2.5
調査機関	広島県統計課		資源エネルギー庁	中国経済産業局	中国運輸局 自動車検査協会	総務省	国土交通省			西日本建設業保証

(注) Pは速報値、鉱工業指数の前年値は原指数。電力需要実績は特別高圧(大規模工場やデパート、オフィスビル)と高圧(中小ビルや中小規模工場)の合計値。百貨店・スーパー販売額の伸び率は店舗調整値、公共工事請負金額と有効求人倍率の※は年度、所定外労働時間は事業所規模5人以上。

	有効求人 倍率 (倍)	常用雇用指数 (2020年=100)		所定外 労働時間 伸び率 前年比	銀 行		でんさい発生記録請求		企業倒産 (負債1千万円以上)	
		指 数	前年比		実質預金 (億円)	貸出金 (億円)	件 数 (件)	金 額 (億円)	件 数 (件)	負債総額 (百万円)
2020年	※ 1.29	100.0	△ 0.3	△ 15.3	※ 173,287	※ 122,385	84,052	4,098	165	29,569
21	※ 1.38	99.6	△ 0.4	8.6	※ 178,945	※ 124,843	111,037	5,167	106	17,021
22	※ 1.57	100.9	1.3	△ 0.7	※ 183,591	※ 131,090	132,860	6,568	106	31,015
23	※ 1.53	103.5	2.6	△ 1.8	※ 190,331	※ 135,625	157,177	7,658	157	17,049
23年 7~9月	1.53	104.7	2.5	△ 3.5	186,354	132,784	39,383	1,883	36	7,501
10~12	1.51	103.6	3.7	△ 3.0	187,024	134,933	42,739	2,051	56	4,886
24年 1~3	1.52	101.7	0.6	△ 6.9	190,331	135,625	43,091	1,916	54	24,357
4~6	1.44	103.8	△ 0.6	△ 3.5	192,655	136,699	44,905	2,108	52	6,626
7~9	1.42	104.2	△ 0.5	△ 2.3	191,299	137,958	46,506	2,067	43	15,673
23年 10	1.52	104.7	4.7	△ 2.7	186,538	132,539	13,922	684	20	1,385
11	1.50	104.4	4.3	△ 1.8	185,609	133,085	14,440	686	16	2,140
12	1.50	101.8	2.2	△ 4.4	187,024	134,933	14,377	681	20	1,361
24年 1	1.50	100.0	0.8	△ 7.5	185,980	134,473	14,650	671	14	2,189
2	1.53	102.8	0.6	△ 3.6	186,415	135,222	13,727	583	19	1,727
3	1.54	102.3	0.4	△ 10.2	190,331	135,625	14,714	662	21	20,441
4	1.49	103.5	△ 0.5	△ 8.0	190,436	134,912	15,052	726	18	1,156
5	1.43	103.9	△ 0.7	△ 1.0	193,054	135,866	15,134	742	20	2,925
6	1.41	104.0	△ 0.6	△ 2.9	192,655	136,699	14,719	640	14	2,545
7	1.43	104.4	△ 0.5	1.0	192,243	138,133	15,666	722	20	1,128
8	1.42	104.2	△ 0.5	△ 4.0	192,239	137,775	15,720	700	9	12,045
9	1.42	104.1	△ 0.5	△ 3.8	191,299	137,958	15,120	645	14	2,500
10	1.44	103.3	△ 1.3	△ 5.4	191,615	138,581	16,749	757	19	920
11	1.41						17,119	780	17	1,489
調査機関	広島労働局	県 統 計 課			日本銀行広島支店	全銀電子債権ネットワーク		帝国データバンク広島支店		

(注) 有効求人倍率の※は年度で原数値、年度及び四半期の数値は月平均。銀行は国内銀行、借金の合計。実質預金、貸出金は月末残高、四半期は期末残高、年次値の※は年度。

■江田島の景況

◇中小企業景況調査（令和6年12月）

『江田島の景況は全国及び広島県の情勢を大きく下回っていると思われる。』

中小企業景況調査より、令和6年10月～12月の景況判断状況は次のとおりである。

- ・令和6年10月～12月期の広島県の全産業の業況判断D Iは▲20.4であり、全国と比較して、3.0ポイント低くなっている。
- ・江田島の数値は15社分の集計結果であり、参考値としてみていただきたいが、業況判断D Iは▲52.9であり、全国値・広島県値より大幅に低い値となっている。

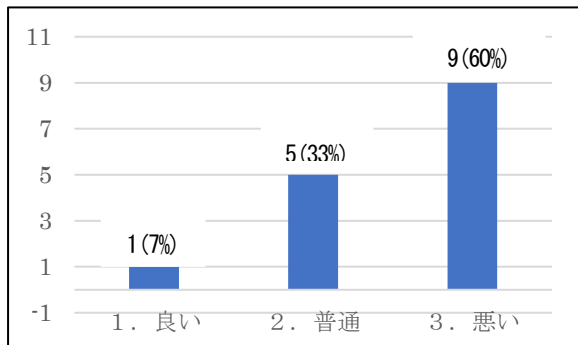
図表4 景況判断状況（全産業）

（前期比）

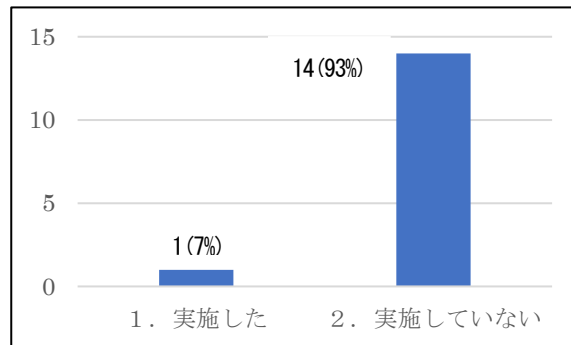
	2023年				2024年			
	1－3月	4－6月	7－9月	10－12月	1－3月	4－6月	7－9月	10－12月
全国	▲13.7	▲10.8	▲12.8	▲18.9	▲10.4	▲15.6	▲13.3	▲17.4
広島県	▲15.7	▲11.0	▲16.2	▲21.4	▲15.8	▲19.1	▲16.0	▲20.4
江田島市	▲53.3	▲46.7	▲46.7	▲73.3	▲73.3	▲53.3	▲39.5	▲52.9

- ・江田島市15社分の現在の景況感、設備投資状況は次のとおりである。

図表5 現在の景況感



図表6 2024年10月～12月の設備投資



- ・ 中小企業景況調査では、全国で18,592企業、江田島市商工会では15社が対象となっている。
- ・ 江田島市商工会調査においては、製造業では「原材料価格の上昇」が、建設業では「材料価格の増加」が、小売業では「需要の停滞」が、サービス業では「店舗施設の狭隘・老朽化」が、経営上の問題点の第1位となっている。

図表7 経営上の問題点

		経営上の問題点		
		1位	2位	3位
製造業	全国	原材料価格の上昇	需要の停滞	従業員の確保難
	江田島市商工会	原材料価格の上昇	生産設備の不足・老朽化	特になし
建設業	全国	材料価格の上昇	従業員の確保難	熟練技術者の確保難
	江田島市商工会	材料価格の上昇	熟練技術者の確保難	材料費・人件費以外の経費の増加
小売業	全国	仕入単価の上昇	消費者ニーズの変化への対応	需要の停滞
	江田島市商工会	需要の停滞	需要の停滞	人件費の増加
サービス業	全国	材料等仕入単価の上昇	利用者ニーズの変化への対応	従業員の確保難
	江田島市商工会	店舗施設の狭隘・老朽化	材料等仕入単価の上昇	利用者ニーズの変化への対応

◇保証月報（広島県信用保証協会月報）

江田島市内事業所の金融保証承諾及び保証債務残高の状況は次のとおりである。

- ・ 令和6年12月末時点の江田島市内中小企業の保証承諾件数は36件、金額は370百万円であり、前年同月比で減少している。
- ・ 令和6年12月末時点の江田島市内中小企業の保証債務残高件数は395件、金額は3,655百万円であり、前年同月比で減少している。

図表8 保証状況（江田島市・広島県）

（単位：百万円）

	2023年12月				2024年12月			
	保証承諾		保証債務残高		保証承諾		保証債務残高	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
江田島市	46	833	417	4,112	39	370	395	3,655
広島県	11,861	205,948	73,298	778,181	10,036	129,170	69,931	724,350

以上